

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36104	ファッションビジネス論 Fashion Business	杉浦菜穂子		専門	2	選択	1、2後期

科目の概要

ファッション系の検定試験における出題範囲の内容を解説する。前半はファッションビジネス能力検定試験、後半はファッション販売検定試験の内容を対象とし、検定合格を目指して対策講座を展開する。ICT活用システムGFP(Gakusen Fashion Prime)を使用し、問題を繰り返し解くことにより学修の定着を図る。社会的に社会的に自立していく上で必要な専門分野の検定取得を目標に専門的知識を活用し、自らの可能性を広げながら、ファッションビジネス分野を総合的に学修する。また、ファッション系検定対策として、これまで獲得した知識を活用して、応用問題の解決につなげていく。これはディプロマポリシーの②と③に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① ファッション消費、マーケティング、マーチャンダイジング、流通などビジネスについて知り、説明できることを目的とする。 ② ファッションデザイン、コーディネート、商品知識などファッション造形について知り、説明できる様になることを目的とする。 ③ ファッション販売について、業界のながれ、販売現場における業務内容と仕事のながれを学修する。 ④ アパレル製品の商品知識について、色、素材、アイテムの種類について解説する。	① ファッション消費、マーケティング、マーチャンダイジング、流通などビジネスについて内容を記述することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ② ファッションデザイン、コーディネート、商品知識などファッション造形について内容を記述することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ③ 業界のながれをとらえ、販売知識の実際が理解でき、内容を説明できる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ④ アパレル製品の商品知識を修得し、製品の概要をとらえ、内容を説明できる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	検定合格を目指し、授業で学修した内容を復習し、業界の実状と照らし合わせながら積極的に学修を進める。
	働きかけ力	
	実行力	達成目標（検定合格）に向けて、傾向と対策を練り、目標達成のために行動する。
考え抜く力	課題発見力	自分の苦手な分野を克服するために課題を見つけ、検定合格ラインを目指す。
	計画力	検定日に合わせて、事前学修の計画を立て、途中で点検しながら修正し進める。
	創造力	検定合格のために自己学修方法を工夫して考え、実践する。
チームで働く力	発信力	わからない授業内容や受検勉強の取り組み方について質問する。
	傾聴力	教員の話はしっかりと聞き、要点は筆記する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「ファッションビジネス能力検定」、(財)日本ファッション教育振興協会編
 「ファッション販売検定」、(財)日本ファッション教育振興協会編

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
(杉浦) ファッションビジネスは、素材産業から、服の企画・生産・卸販売、そして百貨店などの小売り産業まで、広範囲な分野に及ぶ。よって常に社会情勢、ファッションニュースに注視し、市場調査を行おう。 (長谷川) アパレル製品に目を向けて、商品の種類や特徴、デザイン性について考えよう。また、アパレル製品売り場にも足を運び、ショップのあり方や販売員の接客の様子、商品構成をとらえよう。	受講者全員、検定試験受検のこと。 検定料：ファッションビジネス検定－6900円 (テキスト代含む) ファッション販売能力検定－6600円 (テキスト代含む)

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	30	①	✓	pisa型学力を見るため、授業内で得た知識を活かしてファッションライフにどう展開させるかレポートにまとめ、結果を反映する：10点満点 模擬試験結果を反映する：10点満点×2検定 ➤結果については返却し、見直すことで復習につなげる。 これまでに獲得した知識を活用して、試験問題が回答できるように応用力を身につける。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
レポート		0	①			
			②			
			③			
			④			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓	検定試験結果を反映する。 ・2検定合格：60 ・1検定合格：50（不合格の検定の1領域が合格） ・1検定合格：40（不合格の検定の2領域ともに不合格）		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：授業で学修した内容を復習するために、業界の実状を積極的にとらえることができたか。 実行力：検定に向けて、傾向と対策を練り、目標達成のために行動できたか、検定結果より評価する。 課題発見力：自分の苦手な分野を克服するために課題を見つけて、学修を進めることができたか、検定結果より評価する。 計画力：検定に向けて、事前学修の計画を立て進めることができたかを計画書より評価する。 創造力：検定合格のために自己の学修方法を工夫して考え、実践できたか。 発信力：わからない点や受検勉強の取り組み方について質問できたか。 傾聴力：教員の話をしっかりと聞き、要点は筆記しながら取り組むことができたか。 規律性：遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッション販売の概要をとらえ、販売アイテムについて理解し、商品の特徴が把握できている。 ファッションビジネス検定、ファッション販売検定の両方を合格している。 S：上記の評価に加え、授業での積極的な取り組み姿勢が見られる。</p>	<p>B：ファッションビジネス検定、ファッション販売検定のいずれかが合格している。 C：前向きとは言えないが検定の問題は実施していた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の概要について、検定の内容、受験のながれを説明する。	講義 授業の概要について、検定の内容、受験のながれを説明し、計画表を記入する。	授業の受け方と検定の概要を理解することができる。	(予習) シラバスを読み、授業内容を確認する。 (復習) 検定試験内容を復習する。	180	計画力 傾聴力
2	・ファッションビジネス検定試験概要 ファッションビジネス知識 ファッションビジネスの概要 ・ファッションビジネスの定義と特性 ・繊維ファッション産業の流れ	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	ファッションビジネスの特性と、繊維ファッション産業の流れが理解できる。	(予習) テキストファッションビジネスの概要を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	創造力 傾聴力
3	ファッション消費と消費者行動 ・消費者行動とファッション表現 ・ライフスタイルとファッション ・お客様の購買行動 アパレル産業と小売産業 ・アパレル産業の概要 ・ファッション小売産業の概要	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	ファッション消費者行動を理解し、アパレル産業と小売産業の仕組みがわかる。	(予習) テキストP39～77を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
4	ファッションマーケティング ・マーケティングの基礎知識 ・マーケティング上の分類方法 ・市場調査の基礎知識 ファッションマーチャンダイジング ・マーチャンダイジング基礎知識 ・商品企画・生産・販売の流れ ・売場商品構成の基礎知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	市場調査の基礎知識を持ち、MD・生産・販売の流れが理解できる。	(予習) テキストP79～120を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	実行力 発信力 傾聴力
5	ファッション流通 ・流通 ・ファッション小売企業の仕組みと業務 ビジネス基礎知識 ・会社に関する基礎知識 ・企業の組織 ・企業会計 ・計数知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	ファッション小売企業の仕組みと業務を理解し、会社に関する基礎知識がわかる。	(予習) テキストP121～147を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
6	ファッション造形知識 デザインの定義と特性 ・衣服の流れ ファッションコーディネーション ・コーディネーションの基礎知識 ・ファッションスタイリング ・ファッション企業のスタイリング	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	衣服の流れを捉え、ファッション企業のスタイリングが理解できる。	(予習) テキストP149～175を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	創造力 傾聴力
7	ファッション商品知識 ・アパレル商品知識 [服種・アイテム] ・シルエットの知識 ・ディテールの知識 ・サイズの知識 ・繊維の知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	アパレルの商品部門・服種・アイテム(品目・単位品目)・型について理解できる。	(予習) テキストP177～211を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 傾聴力
8	ファッションビジネス能力検定試験模擬試験および解答解説	実技 模擬試験後、解答および試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	過去問題による模擬試験で、検定の概要がわかる。	(予習) 小テストの見直しをする。 (復習) 模擬の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ファッション販売知識について ・業界の概要 ・商品のながれ ・小売業と店舗	PPによる講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	アパレル製品の商品のながれ、小売店と店舗形態が説明できる。	(予習) ファッション店舗について、見直し、特徴を把握する。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	創造力 傾聴力
10	マーケティング知識について ・マーケティング戦略 ・リテールマーケティング ・販売スタッフと情報	PPによる講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	ファッション業界におけるマーケティングについてを述べるができる。	(予習) ファッション販売におけるマーケティングについて教科書を熟読する。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
11	ファッション販売業務について ・販売スタッフの仕事 ・販売技術 ・基本マナー ・店舗演出	PPによる講義 お辞儀、挨拶の実習 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	販売技術として大切な基本マナーについて行うことができる。	(予習) ファッション販売の従事者の仕事の取り組みを見学する。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。 お辞儀、敬語の練習	180	実行力 発信力 傾聴力
12	ファッション商品知識について ・アイテム知識 ・素材の知識 ・副資材の知識	PPによる講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	アパレル製品のアイテムの名称とかたちの特徴を知り、素材について、繊維の特性がわかる。	(予習) 自分の手持ちの衣服を観察する。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
13	ファッション商品知識について ・色彩の基本 ・色彩心理	PPによる講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	色彩の基本とアパレル製品における色彩の果たす役割を説明できる。	(予習) 自分の手持ちの衣服の色、柄の特徴を観察する。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	創造力 傾聴力
14	ファッション商品知識について ・サイズ表示 ・品質表示	PPによる講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	アパレル製品に付けられている表示(取り扱い、サイズ、品質マーク)の意味を説明できる。	(予習) 自分の手持ちの衣服のサイズ表記を見る。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	主体性 傾聴力
15	検定試験模擬試験(オンデマンド) 過去の試験内容を解いて傾向を知り、対策を行う。	実技 模擬試験後、解答をクラスルームに提出する。試験内容の解説(フィードバック)を行う。	過去問題による模試で検定の概要がわかる。	(予習) これまでの小テストの見直しを実施する。 (復習) 模試の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違った問題をやり直す。	180	実行力 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力